

市民提案型協働のまちづくり事業補助金制度 自己診断シート

対象団体

チェック項目	以下の項目に該当するか	適用
1 団体の概要、活動状況	(非該当項目)	<p>非該当</p> <p>左の非該当項目が一つでもある場合は、補助対象団体となりません。</p> <p>団体の体制を見直してください。</p> <p>ただし、行政区、地域が実施主体の場合は、基本的には対象団体に該当しません。</p>
① 団体所在地 *甲州市内を拠点とした団体であるか	拠点が市外である	
② 代表者、活動エリア *団体活動エリアが市内での活動であるか	活動エリアが市外のみ	
③ 団体（企画・運営主催団体）の構成 *団体を構成していること *暴力団又はその構成員若しくはその構成員でなくなった日から5年を経過しない者の統制下にないこと	代表者のみで活動 暴力団又はその構成員等の統制下での活動	
④ 市民参加の有無（団体構成の内訳） *市民等が団体活動に参加しているか	市民等の参加なし(参加率0%)	
⑤ 団体活動実績・決算書の状況 *健全な活動・決算がされているか(新規団体は予算書)	活動・会計状況を示せない	
⑥ 社会貢献度の有無 *団体活動に公共性・社会貢献性があるか *団体活動に公共的な要素があるか	個人的利益が目的	
⑦ 非営利活動 *営利を目的としない活動であるか *利益が分配されていないか	営業活動 企業の社会貢献活動	

対象事業

チェック項目	以下の項目に該当するか	適用
2 事業の概要、企画内容	(不適格項目)	<p>注意</p> <p>左の不適格項目が多いと、審査対象にはなりますが、不採用になる場合があります。</p> <p>不適格項目に該当すると思われる場合は、所管課に相談してください。</p>
① 事業適性 *対象事業に該当するか	対象事業に該当しない	
② 公益性 *社会的利益、地域的な利益に寄与しているか	地域貢献が目的に含まれない	
③ 有効性 *事業の成果・効果が期待できるか	地域活性が目的に含まれない	
④ 実現性 *具体的で事業実施期間に完了できるか	申請年度内に完了できない	
⑤ 的確性 *地域のニーズがつかめているか *地域の社会的課題等が解決できるか	社会・地域に関心がない	
⑥ 協働性・相互理解 *所管課と意見・情報交換しているか *協働の相乗効果が期待できるか	所管課と打合せをしていない	
⑦ 発展性・将来性 *市民活動が活性化し、協働の発展につながるか	助成金がなければ実施しない	
⑧ 先駆性 *地域、市民への啓発、モデル的な要素があるか	モデル的事业にはなり得ない	
⑨ 公的補助金の重複 *公共補助金等（国・県・市など）の受給があるか	公的補助金等を受給	